



オフィスでの会議中に、ロボットがドリンクを配布。
喉が渴いていたあなたはそれを一気に飲み干す。
カラになったアルミ缶は、ロボットが自動的に回収。
再生工場へ運ばれ、ウェアラブルデバイスやスマートハウス、
空飛ぶ自動車などにリサイクルされるらしい。

そんな未来は、夢物語ではない。
現に、飲料用アルミ缶の回収率は極めて高く、
新たなアルミ缶として繰り返し再利用されている。
いつかより高度なリサイクルを当たり前。

アルミニウムは、
明るい地球の夢を見る。

UACJ

株式会社UACJ 〒100-0004 東京都千代田区大手町1丁目7番2号 東京サンケイビル 03-6202-2600 (代表)